

全労金2022春季生活闘争ニュース・第40号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

《合意速報No. 16》

九州労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

九州労組は、3月17日11時から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要 求（金庫）			回 答（金庫）		
		職員	契約職員	再雇用 嘱託職員	職員	契約職員	再雇用 嘱託職員
基本賃金		1～3等級2,000円 4～6等級1,000円	3,000円	—	高卒短大卒初任 3,000円	要求通り	—
一時金		4.2	2.5	2.5	4.2	2.5	2.5
昨年実績		4.2	2.5	—	4.2	2.5	—
安定雇用	無期転換	—	(実現)	—	—	(実現)	—
	登用制度	—	(実現)	—	—	(実現)	—
最低賃金		時間額1,030円、日額7,550円 月額158,600円への引き上げ			要求通り 時間額1,030円、日額7,550円、月額158,600円		
雇用環境	私傷病休職	—	(実現)	要求	—	(実現)	継続協議
	育児時短	小学校卒業まで			要求通り		
	ハラスメント	協議で解決			協議で解決		
単組独自要求		休職者の復職後賃金の見直し 配偶者出産休暇の完全取得			休職者の復職後賃金の見直し：継続協議 配偶者出産休暇の完全取得：継続協議		

《金庫の発言概要》

- 要求書提出時の挨拶でも触れたが、営業店を中心にコロナ禍で奮闘いただいている職員に改めて感謝する。
- 春季生活闘争について、国や他産別の状況もあるが、「人への投資」をどう考えるのかということでもある。九州労金は、2014年に嘱託等労働者の無期雇用転換に取り組んだ。それ以降も公正処遇の実現に向け、労使で議論を重ねた結果、社会に先駆け、同一価値労働同一賃金の対応を実現できた。同一価値労働同一賃金の制度を整理したが、このことを働きがいに繋げていく必要がある。また、今後は長寿社会における雇用のあり方についても議論が必要となる。
- 金庫として「人への投資」の根拠や妥当性を様々に検討した結果、今回は年間一時金の満額回答とした。同一価値労働同一賃金の対応や今後の高年齢者雇用の議論

を見据え、今回の回答が最善と判断している。また、継続協議としている内容については、協議の場を設けて進めていきたい。労働組合にも回答の背景を理解いただくとともに、これからも様々に協議を進めていきたい。

《寺園闘争委員長の発言概要》

- 今春季生活闘争は、新型コロナウイルス感染症の影響下にありながらも、長期化するコロナ禍での運動を「異例」ではなく「通常」と捉え、すべての組合員のモチベーションの維持・向上を図り、やりがいや働きがいを喚起し、2022年度以降の営業推進に繋げことを意識するとともに、連合方針で掲げた「ジェンダー主流化」の考えに基づき、男女間賃金格差の是正や「育児・介護休業法」の改正を見越した要求を掲げた。
- 要求に対する回答については、満額回答とはならなかったものの、この1年間、感染防止に取り組むとともに営業スタイルの変更等、働き方の変化に柔軟に対応しながら、会員・労働者の負託に応える観点で奮闘してきたすべての組合員・職員への思いはトップ交渉含めて労使共通であることが確認できたため、妥結收拾を判断した。
- 今後は、継続協議とした課題の解消に向けて、労使で様々な観点で検証を重ね協議を進める必要があるとともに、「組織風土改革」を通じて、すべての職員が誇りや働きがいを喚起し、安心して働き続けることのできる環境整備を実現していくことが必要である。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として継続することが予想されるが、九州労働金庫で働くすべての職員が、誇りと働きがいを持ち、休職・離職することなく、同じ職場で働く仲間と思いやり・助け合いの精神に基づき「組織風土改革」を進めていくこと、並びに、労働金庫運動に邁進できるよう、様々な場面で、労使の代表者を含め意見交換を進め、労使協同で労金運動を推進していくことを求め、妥結收拾にあたっての所感とする。

単組は、①基本賃金の改善について、実在者の改善には至らなかったが、課題認識は一致が図られ、今後は労使で定期的な協議の場を設置して課題の解消を進めることが確認できたこと、②最低賃金の引き上げによって、契約職員、並びに、1等級（高卒・短大卒）の初任時基準額の改善に繋がったこと、③ジェンダー平等に関して、課題認識の一致が図られ、今後の労使協議で協議していくことが確認できたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（12単組／3月17日20時10分現在）

沖縄・北海道・長野・近畿(金庫)・近畿(関連)・新潟・東北(金庫)・東北(関連)
セントラル・中国(金庫)・中国(関連)・中央・北陸・四国(金庫)・四国(関連)
九州

以上